

24年9月9日
樹脂営業技術課 田上

レース運営の縁の下の力持ち

世の中には色々なボランティア活動がありますが、今回は皆さんに参加したことがないような珍しいボランティア活動についてご紹介いたします。

自動車、バイクなどサーキットでモータースポーツ観戦したり、TVでレース中継を観ているとコース脇の建物からフラッグを振る、コース上、脇に止まった車両を撤去したりするオレンジ色のツナギを着た係員がいます。様々なセッション（役割）があります。

※コース・レスキュー・ファイヤー・ピット・パドック・技術・計時・・・

この係員は **オフィシャル** と呼ばれ、レースを安全かつ公平に運営する上で欠かすことの出来ない存在です。オフィシャルはサーキットの職員ではなく、基本的にレースが開催されるときにだけ活動を行うボランティアとなります。



それぞれ本業が別にあり、レースが開催される時に集まります。レースが好きで、オフィシャルをやりたいという意思がある人であれば4輪（車）はJAF・2輪（バイク）はMFJ公認審判員ライセンスを取得し、誰でもオフィシャルを始めることができます。



レース運営に深く携わることができるためモータースポーツ好きにはたまりませんが、朝早くから夜遅くまでの活動となり、休憩もほとんど取ることができないため身体的には楽ではありません。当然ですが与えられた仕事を責任持って行わなければなりません。レースが好きで、レース運営を支えたいという想いがなければ活動を長く続けることはできません。

近くのサーキットとなりますと岡山国際サーキットがありますが、オフィシャル活動は遠方のサーキットでも行えます。私の場合は岡山、鈴鹿サーキット（三重）、オートポリス（大分）、モビリティリゾートもてぎ（栃木）に行きます。



モータースポーツには危険が伴いますので、万一、事故に巻き込まれるなどして怪我を負ったり、死亡してしまった場合にも全て自己責任となります。了承した上での参加となり、誓約書にもサインをする場合もありますので、生半可な気持ちでは参加しないようにしています。



このようなにオフィシャルによってモータースポーツは支えられています。あなたのまわりにもあなたを支えてくれる方がおられると思います。あなたのまわりの縁の下の力持ちは誰でしょうか？

あなたを支えている縁の下の力持への感謝の気持ちを忘れずに与えられた人生を楽しむ過ごしてください。



2024 年 F1 開催時鈴鹿コースオフィシャル 211 名